

第31回 芝富士地区まちづくり協議会 議事要旨

(1) 日時

平成30年2月20日(火) 午後6時30分～7時30分

(2) 場所

芝富士公民館 1階ホール

(3) 出欠者

- ・会 員：9名
- ・事務局：川口市5名、(株)首都圏総合計画研究所2名

(4) 議事次第

- 1) 開会
- 2) 報告
 - (1)川口市密集市街地改善整備補助金の周知とその後の状況
 - (2)道路整備等の状況
- 3) 来年度の協議会について
 - ・協議会活動(案)
- 4) 閉会

【配布資料】

- ・次第
- ・資料1：川口市密集市街地改善整備補助金の周知とその後の状況
- ・資料2：来年度の進め方(案)
- ・第30回 芝富士地区まちづくり協議会議事要旨



▲当日の意見交換の様子

(5) 議事概要 (○：協議会会員の発言、→：事務局の発言)

1) 開会

2) 報告

(1)川口市密集市街地改善整備補助金の周知とその後の状況、及び(2)道路整備等の状況
「川口市密集市街地改善整備補助金の周知とその後の状況について(資料1)と、道路整備等の状況について説明の後、意見交換を行った」

○：「越境」は、市有地である水路側に宅地が入り込んでいるという理解で良いか。

→事務局：その通りである。その場合、越境を解消するにはブロック塀の土台の部分も全て取り壊すことが必要だが、工事の規模が大きくなり、また補助金の上限もあって、持ち出しが多くなってしまう。そのような方は相談に留まっていることが多い。

○：相談がない箇所では越境している場合、関係する方にその旨を知らせているのか。

→：相談があれば伝えているが、無ければ伝えていない。本来はあくまで建替え等の際に下がってもらえればよいが、補助金を使って整備するのであればその箇所は下がってください、というものである。

○：補助金を使いながら、越境を認めるというわけにはいかない、ということだと思う。道路の場合は測量した際に境界に鉋を打つことがあるが、水路はそのようなことをしないのか。

→：杭は打ってあるが道路とは異なり、宅地ごとに打ってない。

○：どのくらい越境しているものなのか。

→：場所による。歩いて見てみてもらうと分かるのだが、水路の際は意外に凸凹している。

○：一見すると出ているように見えても基礎杭から追っていくと出ていなかったということもある。そのようなことはないのか。また事業で整備するなら、越境についても整理することが大切だと思う。今のうちに測量をして杭を打てれば、出っ張っていることを知ってもらう良い機会になる。

○：緑道の整備が整備計画にあるが、このような状況だと、確かに蓋を変える程度の事しかできない。境界が不明確な状況で整備計画に上げているのはお粗末だと思う。

→：所管する河川課で境界線は確定している。建築時、道路側は建築基準法の条件になっているので下がるが、水路側は条件になっておらず一般的には壊さないため、出っ張った状態が維持されてしまい、市としても困っている。

○：市が水路を整備した時に引っ込んでいたと言われたことがある。

○：市で持ち帰って検討してほしい。

○：よい機会ではあるので、地権者に越境している事実は知っておいてもらった方がよいと思う。

○：まちづくりの関係で伝えると、構えてしまう方もいると思う。河川課の管理の中で伝えるか、市で検討してもらいたい。

○：1件の実績はどのあたりの方か。また、来年度整備してもらえそうな方はいらっしゃるのか。

○：他にも整備された箇所があると思うが、どうなのか。

- ：公民館から近い水路に面した方である。なお、越境の問題があり補助金を使わずに改修されたケースもある。趣旨をご理解の上、ブロック塀の改善に協力して頂いたことは有り難い。また、行き止まりの解消も含めて2～3件程度、来年度中に実施して頂ける方がある。
- ：越境していることを伝えた時に、何を基準に越境しているのか等の質問はないか。
- 事務局：境界の杭がどこどこにあって、それを結ぶと出っ張っているという説明をさせて頂いている。
- ：説明を受ける方が納得して頂けるように説明をしてもらいたい。
- ：この事業について、私の耳にも噂が聞こえてくることがある。事業を進めていくことは大丈夫か。
- ：進めていくべきものであるし、説明もしている。噂には蓋をできないのでしかたがないのではないかな。
- ：他市の狭い道路の場合、4mに後退したところは無償提供になってもすぐに舗装がされず、担当部署は相当時間がかかると言っていたが、すぐやる課に伝えるとすぐに舗装されたと聞いた。水路を下がってくれた場合にも、そのような配慮があるとよいと思う。
- ：ちなみに狭い道路について、川口市の場合は後退部分を寄付して頂ければ、舗装は市がすぐに行っている。
- ：拡幅と反対側は現道中心から2mの後退があるが、下がった時に市は速やかに舗装してくれているように思う。また、相談件数が12件もあってよかった。相談が一桁で、実績がゼロではないか心配だった。実績は1件だが、補助金を受けずに改善された方がいらっしゃるの、主旨をご理解して下さったことに大きな意味があると思う。
- ：他地区では、全域を回っていないため、相談は数件だったので、芝富士地区で水路沿いの該当者宅に各戸に回った周知は非常に効果があったと思われる。
- ：将来のためにしっかり進めていくことが大事である。
- ：道路整備の見通しはどうか。当初の予定だとあと3～4年だと思う。頑張っているが、まだ「きれいになった」と言える箇所がない。先に小学校から公園までを整備してしまうことなどを考えられないか。
- ：高低差の問題があり、今、道路の基本設計を進めているところである。
- ：2号南側の三角地の見通しはどうか。「入居者募集」の看板がある。
- ：地権者の方と話しをさせて頂いている所である。
- ：看板は昔からのものが残っているのだと思う。
- ：公民館の入口のところが、駐車場でなくなったのも買収したのか。
- ：買収した。今後舗装していく。
- ：いくつも市が買った箇所が見られるようになった。市の駐車場も後退して舗装もしている、進んできたのが分かる。
- ：確かに簡易な舗装でもすれば、みなさんの見方も少しずつ変わっていくと思う。
- ：事業の期間もあるが、関わる方が一番大変なので、それぞれの事情を汲んで進めてもらいたい。

3) 来年度の協議会について

「来年度の進め方（資料2：来年度の進め方（案））を説明した」

4) 閉会

★決定事項

- ・第32回協議会は、7月18日（水）午後6時30分とする。

以上